



# ネットワーク大津 第40号



色とりどりの七夕飾りを目にする頃となりました。先月は台風の影響からか強風が吹きすさぶ梅雨で、田植え中は帽子や苗箱が吹き飛ばされることが多々ありました。今後はチベット高気圧と太平洋高気圧によるダブル高気圧によって厳しい暑さをもたらすと予報されており、今年も厳しい暑さと向き合っていくことになりそうです。皆様も無理をなさらぬようご自愛ください。

## ネットワーク大津(株) 4、5、6月

4/22	農作業安全講習会(補助員向け)	6/4	熊本育苗センター 水稻苗引取り開始
4/23	東部・西部・本社合同会議	6/22	農水省より視察
5/12	大麦収穫開始 (5/18 終了)	6/24	田植え体験(中止)
5/24	小麦収穫開始 (5/30 終了)	6/30	棚卸監査

### 定例取締役会：主な内容について

#### 4/6 : 固定資産の導入計画及び処分について

##### ●固定資産の廃棄一覧

##### 【コンバイン】

ヤンマー	4条自脱型コンバイン GC447	大林集落	平成15年導入
ヤンマー	4条自脱型コンバイン GC453	錦野集落	平成15年導入

##### 【乗用管理機】

イセキ	乗用管理機 JKA19D	森集落	平成25年導入
-----	--------------	-----	---------

##### 【麦播種機】

アグリテクノ	麦播種機 RXG-6SE	陣内ランド	平成21年導入
--------	--------------	-------	---------

##### ●固定資産の導入一覧

##### 【コンバイン】

ヤンマー	コンバイン YH571A	1台	11,880,000円(税込)
------	--------------	----	-----------------

(購入先：菊池地域農業協同組合)

#### 5/1 : 令和8年産 水稻育苗料金について

- ・夢あおば 1箱 700円(税込)
- ・ヒノヒカリ 1箱 760円(税込)
- ・自家用米(ヒノヒカリ・ヒヨクモチ) 1箱 960円(税込)

#### 6/1 : 農作業受託作業料金について

##### 【農作業受託作業料金表】

「※水稻収穫、倒伏追加料金 1,000円/10a (圃場全体50%以上の場合、追加料金となる)」



「※収穫作業に係る、倒伏追加料金 1,000円/10a (但し、取締役からの指示及び判断に伴う)」

令和8年水稻収穫から開始する。

# 令和8年産「麦」での出来事

今回の赤カビ防除から大型ドローンのT25を導入し、計4台体制で防除作業を行いました。T25の運用にはこれまでにない特徴的な部分があり、そのひとつに発電機を運搬しての作業体制が挙げられます。これは発電機が充電器を兼ねており、ガソリンを燃料にバッテリーをその場で充電できるという代物です。これにより、バッテリー運搬要員の削減と、運用するバッテリーの必要数も最低限2個あれば事足りるといった運用体制を確立することが出来ました。ただし、機体サイズとプロポ（送信機）が大きいことと、液剤タンクの取り外しが出来ないという点から、T20（液剤タンク取り外し可能）と比べて持ち運びや作業時（液剤タンクに事前の液剤作成が行えない等）の利便性が低下しております。

はるしづく最後の作付となった今季は多数の集落で施肥量の調整（無施肥）を行ったおかげか全体的な倒伏度合は少なく、一部倒伏圃場が発生した際にも麦収穫仕様に換装した普通型コンバイン1台で対処することができました。昨年は収穫時期が遅め（大麦5月20日～29日 小麦6月2日～6日）でしたが、今年は例年並みの収穫時期であった為、比較的に余裕のある状態で表作への移行が行えました。



# TMR事業報告

新年度を迎えた今月、水の恵み1号（繁殖牛用）の価格改定が行われます。今回価格改定をせざるを得なかった背景には、近年の原油価格および原材料費の高騰、ならびに物流コストの上昇が挙げられました。原材料の異なる他製品に関しても昨今の情勢的に厳しい状況ではありますが、水の恵み1号に比べればまだどうにか踏ん張れるラインのようで、現状は価格据え置きのまま製品を提供していく予定です。今後も設備改修や原料の調達方法等を思索し、より良い製品の提供を行えるよう努めて参ります。

3月末時点での在庫数	
繁殖	297,089Kg
肥育	697,315Kg
搾乳	20,234Kg

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	24,361 kg	64,450 kg	417,682 kg	267,404 kg
5月	18,903 kg	43,308 kg	162,646 kg	271,862 kg
6月	61,818 kg	67,708 kg	249,519 kg	289,568 kg
合計	105,082 kg	175,466 kg	829,847 kg	828,834 kg

	TMR(搾乳)		3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	36,154 kg	15,078 kg	478,197 kg	346,932 kg
5月	0 kg	14,544 kg	181,549 kg	329,714 kg
6月	23,580 kg	10,876 kg	334,917 kg	368,152 kg
合計	59,734 kg	40,498 kg	994,663 kg	1,044,798 kg

税別	販売価格	改定後価格
水の恵みTMR1号	29円/kg	32円/kg



# 水稲 中干し時期に発生する雑草への対処について



はじめに

田植時等に散布した初期除草剤の効力は、農薬の処理層が破壊される中干し時に効力を失います。その為、中干し時に発生する雑草に対して事前の防除策は「現状ない」という見解を頂いております。

じゃあどうすれば良いのか？・・・・・・発生を確認次第、抜くか農薬で対処する必要があります。

## ①中干し前から雑草が見受けられる

### ①-1 中干し前に散布したい(粒剤散布で対処しやすい)

・初期剤や一発剤の取りこぼしに対して後発剤を使用してください。散布後は3~4日程度湛水状態を維持する必要がある農薬が多い為、中干しの始まる期間から逆算して散布する必要があります。

例：畑井出の水止め 7/21⇒湛水期間が最低 7/19~20⇒散布 7/18 まで 等

### ①-2 中干し中に散布したい(液剤散布が適している)

・多くの粒剤は「湛水」または「ごく浅く湛水」が条件となる為、液剤散布が推奨されます。農薬散布後の入水は製品ごとに異なる為、注意してください。

例：ロイヤント乳剤(散布後3日以内に入水) ワイドアタック SC(散布2日後に入水可)



## ②中干し以降に雑草が見受けられる(液剤散布が適している)

・中干し後は間断灌水を行うことや、雑草の生育状況が粒剤の適期を過ぎていることが多い為、液剤による散布が適切な状況が多いです。また、中干し後に散布できる農薬は残効性の関係と成長した雑草に対しての効果性から、粒剤は適さない又は散布しても効力が弱い場合が多いようです。

最後に

農薬を散布する場合は作物への登録が取れているか事前の確認をお願いします。

SGS への登録が取れている農薬の一例 ※ツイゲキとワイドアタック SC は稲5葉期以降にご使用ください

中 干 し 前	ツイゲキ 規格：1キロ粒剤	ツイゲキ 規格：豆つぶ 250※拡散タイプ
	10a あたり：1kg 使用方法：湛水	10a あたり：250g 使用方法：湛水
	時期：移植後 14 日～収穫 60 日前	時期：移植後 14 日～収穫 60 日前

中 干 し 中 ・ 後	ロイヤント乳剤 10a あたり：200ml	ワイドアタック SC 10a あたり：100ml
	散布時：湛水～落水	散布時：ごく浅く湛水～落水
	時期：移植後 20 日～収穫 45 日前	時期：移植後 20 日～収穫 30 日前
	散布後 3 日以内に入水	散布後 2 日間は入水せず状態を維持

# 今年の夏は“スーパー”エルニーニョの兆候

エルニーニョ現象になると日本は冷夏となる、そういったイメージを持つている方もいらっしゃると思います。ただ、気候変動による気温の底上げ効果が加わった今、この傾向が崩れる可能性があります。

今年のエルニーニョ現象における日本の傾向を調べていた際に、スーパーエルニーニョ現象が引き起こす事象として興味深い記事が目にとまりました。2025年のNature Communications (ネイチャー・コミュニケーションズ)に掲載された研究で、スーパーエルニーニョが「気候のレジームシフト」を引き起こすトリガーになる可能性が示唆されているとのこと。気候のレジームシフトとは気候体系が「今まで通常と捉えられていた状態」から「別の安定した状態」へと段階移行してしまうことを指します。今までの当たり前だった気候バランスが崩れ、十数年に渡り元に戻らなくなるようです。1989年にレジームシフトが起こった際には、1987年以前のほとんどの年で平年よりも気温と海水温が低くなっていたものが、1988年〜1989年を境にして、平年よりも気温と海水温の高い年が増加したようです。最近では2010年以降の猛暑頻発・冷夏不発生は、気候のレジームシフトが一因であるとの考察も見受けられました。過去3回(1982〜1983年、1997〜1998年、2015〜2016年)のスーパーエルニーニョは、いずれも地上気温や土壌水分が大きく変化したタイミングと重なっていることが分析から明らかになっているようで、現在は気候変動による気温の底上げ効果も重なり、スーパーエルニーニョが起きるとこれまでとは異なる気候の状態に変化するといったことが起こりやすい状態になることが推察されています。当件は今後の農業にも強く影響を及ぼすと思われる。

## ポイント

- ・エルニーニョ現象=冷夏のイメージだが、最近はそうとも限らず、猛暑の可能性あり。
- ・気候のレジームシフトが引き起こされるとこれまでの地球環境から世界が一変する。  
→これまでのカレンダー的な栽培管理では通じなくなる恐れがある。  
→今まで以上に栽培実績の管理や分析が必要となる。

## 今後の予定

毎月 第1月曜日 定例取締役会

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 7/6 集落運営費の支払い          | 8/中旬 第1回大豆防除       |
| 7/6 令和8年作付麦の作業委託申込書の配布 | 8/下旬 第2回水稻一斉防除     |
| 7/中旬 稲わら契約書の配布         | 9/1 第14回定時株主総会(予定) |
| 7/下旬 第1回水稻一斉防除         | 9/下旬 SGS刈取り・製造作業開始 |
| 8/月上旬 下期監査             |                    |



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章